

魚津市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業の実施結果等について

魚津市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業のうち、国の交付金を受けて実施した地方創生先行型事業の実績等について報告します。なお、数値はすべて年度末のものです。

1 重要業績指標(KPI)とは

KPIとは、施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標のことです。

魚津市まち・ひと・しごと創生総合戦略のうち地方創生先行型事業では、11事業中10事業についてKPIを設定しました。

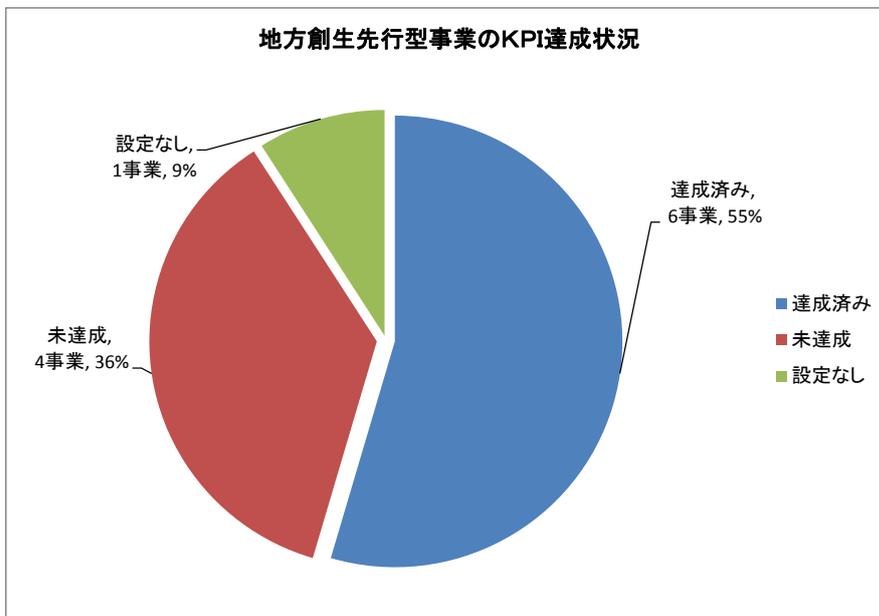
2 実績報告

(1) 地方創生先行型事業:11事業

地方創生先行型事業の概要、目標値は別紙のとおり

(2) 検証結果

KPI達成済み	6事業
KPI未達成	4事業
KPI設定なし	1事業
計	11事業



(3) KPIを達成していない事業

- ・水産資源開発事業
- ・20歳の挑戦事業
- ・魚津セットメニュー開発事業
- ・シティプロモーション映像発信事業

3 平成27年度地方創生事業の実績及び28年度の予定

別紙のとおり

基本目標1 しごとをつくり、若者をはじめとする市民が、安心して働ける魚津にします

施策①「地場産業の振興」

事業名 一次産業担い手育成事業

KPI	一次産業新規就労者数(毎年2人)	単位	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
		人		—	2	2	2	2	2
					2				

上段:目標値
下段:実績値

内容

一次産業の新規就業者等が従事した場合に就業者や雇用主に助成する。
※農林水産課

《H27年度 執行額》 1,333 (千円)

《H27年度実績》
青年農雇用推進事業は、法人を含め4件の申請があり、農繁期等に雇用した青年(45歳未満)の賃金に対する助成を行った。執行率は83%である。また、新規就農者規模拡大支援事業は、当初の見込み額に近い実績(83%)となる予定である。
今年度の新規就農者は2名で、KPIの目標値は達成しているが、本事業が農業に携わるためのさらなるきっかけづくりとなるよう、今後も継続していきたい。

《H28年度の予定》
平成27年度より取り組んだ青年農雇用促進事業を継続して実施し、新規就農に向けたきっかけづくりと、経営主への助成として今後も実施したい。また、農地の集積率向上を目指し、他事業との連携を進めながら、新規就農者が規模を拡大する取り組みを支援していきたい。
今後も、一次産業への就業のきっかけとなるよう継続して事業を推進していきたい。

事業名 とやま型冬期林業チャレンジ支援事業

KPI	林業新規通年雇用者数(新川地域)	単位	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
		人	(延べ人数)	—	10	10	10	10	10
				6	10				

上段:目標値
下段:実績値

内容

これまで作業の行われていなかった冬期間において林業にチャレンジする林業事業者を支援する。
※農林水産課

《H27年度 執行額》 943 (千円)

《H27年度実績》
魚津市三ヶ地内において、伐採木の搬出作業等を行っている。例年に比べて積雪量が少ないが、積雪地における作業技術の習得に努めている。
この事業を行うにあたり、4名の作業員を通年雇用としている。
今後は、積雪地の伐採、搬出技術の課題等を取りまとめ次年度以降につなげていく必要がある。

《H28年度の予定》
前年度の課題を解決し、より効率的な積雪地における作業技術の習得に努める。
事業予定は、H27・28・29年度であるが、事業の効果を見ながら、H30年度以降どのようにしていくか検討していきたい。

事業名		水産資源開発事業							
KPI	単位	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
	未利用魚、低価格魚の使用量	トン		—	2.0	10.0	24.0	31.8	40.0
			0.8	1.5					
未利用魚、低価格魚使用製品の売上高	千円		—	560	4,400	9,700	14,450	19,200	上段:目標値 下段:実績値
			224	442					
内容	<p>消費者から目の向けられなかった知られざる地元のおいしい魚の発掘と高級食品化に向けた商品開発や各種イベントの開催。</p> <p>※農林水産課</p>								
	<p>《H27年度 執行額》 9,400 (千円)</p>								
	<p>《H27年度実績》 事業主体である魚津漁業協同組合では、当該事業を「魚津アジ天点プロジェクト」と命名し、事業を実施してきた。 これまで、低価格魚・未利用魚を活用した、すり身の商品開発を進め1月17日には、市内ホテルにおいて試作品の発表及び試食会を開催、2月4日には、市内飲食店(4店舗)と連携し、開発したすり身を使用した創作料理の発表会、2月13日～14日には、長野県飯山市雪まつりにおいても販売促進活動等を実施した。今後は、都内において開発商品PR、3月には、インバウンド観光を視野に入れ台湾の旅行事業者が多数来市する予定であり、その際のレセプションにおいても開発商品のPR、販売促進活動を実施する予定としている。</p> <p>今後は、事業WEBサイトの開設、市内水産加工業者(蒲鉾製造、すり身製造等)と協議を行い、新商品の納入交渉、生産連携に係る協議を進めると同時に漁協においても生産設備導入、生産体制の整備を図っている。</p>								
<p>《H28年度の予定》 平成27年度に開発された商品の改良、更なる販路開拓を市内関連事業者に広く呼びかけ、取り組んでいくこととする。商品改良においては、今回開発した「すり身加工品」を活用して市内の水産加工業者、飲食店等と連携し、多様な方面のノウハウを活用した新メニュー開発に取り組む。 販路開拓・消費拡大においては、各種イベントへの参加、富山県・魚津市の都内アンテナショップを活用したイベントの開催等の実施、販路拡大として温泉旅館、ホテル、多数ある飲食店等での採用に向け、更に売込みを図っていくこととする。 今後も販路拡大等、売り上げ向上に努めながら、既存事業である、ウマヅラハギのブランド化事業とともに、さらなる新規商品など、新たな展開を検討していきたい。</p>									

基本目標1 しごとをつくり、若者をはじめとする市民が、安心して働ける魚津にします									
施策②「雇用促進と就労支援」									
事業名	資格取得助成事業								
KPI	資格取得助成申請者数	単位	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
		人		—	12	20	20	20	20
					25				
内容		※H27年度 執行額 >> 1,343 (千円)							
	市内に在住する求職者及び従業員が市の指定する資格を取得した場合、それにかかる受講料及び受験料、登録免許料等の経費について助成する。	※H27年度実績>> (資格取得助成実績) 助成人数及び助成額 25人 1,343千円 (内訳) ・運輸関係 10人 980千円 ・福祉関係 9人 293千円 ・建設関係 6人 70千円 助成人数でみると平成27年3月補正予算を上回る(予算 250千円×12人)。 また、資格取得したことによって、雇用が継続したケースもあることから、今後、どこまで雇用に結びついているのか、検証していくことも検討していくべきと考える。							
	※商工観光課	※H28年度の予定>> 個人取得に加え、市内の企業が従業員に対し資格を取得させた場合の費用を新たに助成対象に加えるほか、対象となる資格を拡大し、事業を継続する。 【対象拡大資格(予定)】・建築関係…車両系建設機械 ・土業関係…簿記、税理士、社会保険労務士、中小企業相談士 また、雇用主や企業のニーズをとらえ、効果的な事業推進に努めたい。							
総合戦略推進委員会 意見	申請者の男女比から女性のチャレンジしやすい資格への助成の拡大を期待したい。(理容・美容・通訳・介護職など)								
施策③「魅力ある仕事づくり」									
事業名	創業者支援事業								
KPI	創業者支援事業利用者数	単位	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
		人		—	3	3	3	3	3
					10				
内容		※H27年度 執行見込額 >> 6,847 (千円)							
	市内において新規開業を行う事業者が事務所などを賃貸する場合、その入居費用・家賃等を助成する。空き家や空き店舗を改装して開店する場合は、事業者が負担する改装費や設備・備品にかかる費用を助成する。	※H27年度実績>> (創業者支援事業実績) 助成対象者(団体)及び助成額 10件(内、飲食業 5件 販売業 3件 サービス業 2件)							
	※商工観光課	※H28年度の予定>> 国の創業・第二創業支援である「地域創業促進支援事業」を商工会議所、金融機関等の支援機関と連携しながら、開業サポートしているところであるが、その事業の対象とならない新規開業に対し、引き続き事業を実施していきたい。 併せて、認定支援機関による実務者レベルでの連携会議等を開催し、情報共有と連携の強化を図るとともに、今後も、効果的な事業推進に努めたい。							
総合戦略推進委員会 意見	創業にあたり、その手順がわからなかったと創業経験者から聞いているので、連携会議等を早めのタイミングで実施し、創業の総合的な支援の検討を願う。								

上段:目標値
下段:実績値

上段:目標値
下段:実績値

基本目標2 魅力あるまち魚津への新しいひとの流れをつくります									
施策①「移住・定住のための環境づくり」									
事業名	20歳の挑戦事業								
KPI	20歳の挑戦事業参加学生数	単位	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
		人		—	10	10	10	15	20
					8				
内容	<p>市内企業におけるインターンシップ合宿について、参加者の旅費、宿泊費等を市が支援する。</p> <p>※商工観光課</p>	<p>《H27年度 執行額》 1,050（千円）</p> <p>《H27年度実績》 大都市圏等に在住する学生に対して、魚津市内の企業の周知を図り、魚津市での就職のきっかけを創出するとともに、魚津市以外の者の知見を把握し、市の施策に反映させるための基礎資料を得ることを目的として、次のとおりインターンシップを実施。 （インターンシップの概要） ・委託先 魚津商工会議所 ・委託費 1,050千円 ・対象者 大都市圏の学生（東洋大学 8名） ・実施期間 平成27年8月16日～22日、平成28年1月31日～2月2日 ・概要 テーマを「交流人口と定住人口の拡大」とし、本市の地域課題とされる調査・分析を実施</p>							
		<p>《H28年度の予定》 平成28年度も引き続き商工会議所を受入先として継続し、平成27年度において抽出した課題のうち、テーマを選択し、その課題解決に向けた提言ができないか検討中。 当初の事業内容とは主旨が異なったが、良い提案をいただくことができました。提案された内容をフィードバックする必要があると、市の職員や市内の若者とディスカッションする場を設けるなど、その方法について検討したい。平成28年度もこのスタイルで継続し、平成29年度事業設計時に、インターンシップの事業内容を再検討していきたい。</p>							
		<p>総合戦略推進委員会 意見</p> <p>今年度の検討結果を市役所内だけでなく、広く発信してほしい。また、インターンシップ事業についても並行して事業実施を進めてほしい。</p>							

上段：目標値

下段：実績値

施策②「観光の振興、交流人口の拡大」									
事業名	市内主要施設Wi-Fi設置事業								
KPI	WiFi(公衆無線LAN)施設数	単位	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
		箇所		126	130				毎年増
				126	130				
内容	市内の公共観光施設等にWi-Fi(公衆無線LAN)を設置する。 ※商工観光課	<<H27年度 執行額 >> 4,513 (千円)							
		<<H27年度実績>> 市内の観光主要施設において、観光客や市民の利便性、情報収集等の効率性を図るため、公衆無線LANを整備する。 (本事業におけるWiFi設置箇所) ・魚津埋没林博物館 ・海の駅「蜃気楼」 ・魚津駅前観光案内所 ・電鉄魚津駅待合室 (観光案内所の増設) ・電鉄魚津駅観光案内所 (レンタサイクル店舗の増設) ・海の駅「蜃気楼」 ・電鉄魚津駅前観光案内所 (NICE TVによる市内施設へのWiFi設置数) 130箇所							
		<<H28年度の予定>> 主要な観光施設については平成27年度において整備を行い、平成28年度については、その他観光関連施設の整備について検討しながら、今後も、効果的な事業推進に努めていきたい。							
事業名	魚津セットメニュー開発事業								
基本目標の数値目標		単位	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
年間観光入込客数		千人		1,561	1,625	1,690	1,755	1,820	1,885
				1,561	1,539				
内容	魚津駅前などの飲食店にて「魚津セット」メニューを開発・販売し、観光客の訪問意欲を向上する。 ※商工観光課	<<H27年度 執行額 >> 9,936 (千円)							
		<<H27年度実績>> 飲食店にて「じゃんとこいセット(税込1,000円)」のメニュー(料理+ドリンクセット)を各店舗のお任せでメニュー化してもらい、年中提供できるようにする。 また、店の情報が得やすく、入りやすくするため、ビーコンやスマートフォンを活用しながら店舗の情報提供を促し、気軽に美味しいものを食べ、飲み歩きできる環境を整備する。 また、スマートフォンアプリにスタンプラリー機能を整備し、年中のスタンプラリーイベントを開催できるようにする。 ・平成27年12月10日 「じゃんとこいセット」説明会 ・平成28年1月21日～ 「じゃんとこいセット」提供開始 (参加店舗数) 30店舗 (スタンプラリーの参加者:景品交換者数) 20名							
		<<H28年度の予定>> 本市に安心安全で美味しい「じゃんとこいセット」があるというイメージを向上させ、市民や本市を訪れる方々に認知してもらうためにも、紙ベースのパンフレットを作成し、市内外に広く周知する。また、期間を定めてイベントを実施し、飲食店街の賑いの創出と事業のPRを行う。 また、ターゲットや金額設定の再検討をしながら、利用者を増やすよう努めていきたい。 ・全体予算 2,010千円 (内訳) 消耗品費 200千円 印刷製本費 1,000千円 委託料 900千円							

上段:目標値

下段:実績値

上段:目標値

下段:実績値

基本目標2 魅力あるまち魚津への新しいひとの流れをつくります									
施策③「シティプロモーションの推進」									
事業名	シティプロモーション映像発信事業								
KPI	シティブロモーション映像視聴回数	単位	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
		回		—	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
			—	—	111				
内容	本市の特徴、産物、見所等を様々な動画で紹介し、ヒト・カネ・モノ・情報を市内に呼び込み、地域経済の活性化を図る。 ※企画政策課	※KPIについては、水循環遺産番組のみ、H27年度中に一部配信しているため、その視聴回数を計上した(YouTube視聴回数)。							
		※H27年度実績 シティブロモーション事業として、以下の業務を実施した。 ①観光情報動画制作・WEBページ制作・配信業務 …観光CM(1分を6本制作。うおづ4姉妹がめぐる、しんきろう・たてもん・水族館・温泉・フルーツ・おさかな)、観光番組(15分を1本制作。うおづ4姉妹がすすめる魚津) ②うおづ水循環遺産紹介動画制作・配信業務(英語・台湾語制作含む) ③魚津市PR映像制作業務 …「連続ショートドラマUOZU生活はじめました」、「田舎のこどもの朝ごはん」 ④埋没林博物館PR版番組制作・配信業務 …「ご当地アイドル ビエノロッシが行く! 富山湾の不思議発見～魚津埋没林博物館～」							
		※H27年度 執行額 9,446 (千円) ※H28年度の予定 上記内容により制作した番組やCMを広く発信し、魚津をPRする(市ホームページ、YouTube ほか)。5年程度は継続して使用できる内容であるため、新規制作の予定はないが、多くの方に視聴していただくため、YouTube内の魚津公式ページの開設や、視聴者が関連して再生できる方法の取り入れなど、効果的な発信方法や活用方法を検討していきたい。							

上段:目標値
下段:実績値

基本目標3 子どもを産み、育てることに喜びを感じられるまち魚津を目指します

施策①「結婚・妊娠・出産支援」

事業名 不育症治療費助成事業

内容	不育症の治療を受けるご夫婦に対し不育症治療費の助成を行うことで、経済的な負担を軽減し安心して出産ができるようにし、少子化対策を図る。	<<H27年度 執行額 >> 44 (千円) <<H27年度実績>> ①事業の進捗状況 申請なし。 問い合わせ6件。うち医療機関1件。うち検査・治療中の方2名からの問い合わせ。翌年度まで治療が継続するため、結果、申請に至らなかった。 ②今後の課題等 ・治療を希望する方以外にも病院からの問い合わせがあり、一層の周知が必要である。 ・原因を探りながらの治療であり先行きが見えにくく、受診者に不安感がある。 ・専門医療機関が富山大学付属病院であり、通院に時間がかかる。
	※健康センター	<<H28年度の予定>> ・助成制度の周知(妊娠届出時、不妊治療費助成申請時など、医療機関への周知など)積極的なPR方法を検討する。 ・研修受講等による職員の資質向上 ・専門相談機関である県女性健康相談センターの活用 ・H27からの継続治療中、新規の方＝助成件数3～5件→出産に至る方1～3名
	総合戦略推進委員会 意見	(厚生センター所長)・・・県としての実績も上がっていないのが現状。市内で受診できるのが理想。アクセスの問題もあるが、決定的に医師不足が影響している。治療費助成にとどまらず、環境整備を進めていく必要あり。

施策③「子どもを産み育てたい環境づくり」

事業名 三世代同居推進奨励金事業

KPI	三世代同居世帯数	単位	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
		世帯			80	93	90	100	110

上段: 目標値
下段: 実績値

内容	子どもを安心して産み育てられ、高齢者が健康的に暮らし続けることができるようにするとともに、若い世代の定住を促進するため、三世代同居世帯に対し奨励金を交付する。	<<H27年度 執行額 >> 11,920 (千円) <<H27年度実績>> 平成27年3月31日現在で既に三世代同居世帯であった80世帯に対し9,340千円を交付した。 【既存世帯】 平成27年度中に新たに三世代同居世帯となった13世帯に対し、2,340千円を交付する見込みである。 【新規世帯】 既存世帯と新規世帯の合計は93世帯となり、目標値を上回る結果となった。事業開始直後は多くの市民から問い合わせがあるなど、事業に対する関心の高さが窺えた。平成28年度以降は新規世帯のみが対象者となるため、いかに事業を周知していくかが課題である。
	※社会福祉課	<<H28年度の予定>> 広報による周知を行うとともに、社会福祉協議会が開催する地区ケース検討会等の場を活用して事業のPRを行う。 目標値として、毎年10世帯の増加を目指す。 また、地区別のデータを地域振興会に提供するなど、地区として、この取り組みを進められないか検討する。